



年 頭 所 感

新年のご挨拶

大阪大学工業会会長 鈴木 胖

新年明けましておめでとうございます。旧年中は本会の活動に多大のご協力とご支援をいただき、まことに有難うございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、1919年に大阪高等学校の同窓会「大阪工業倶楽部」として発足した当会は、大阪大学工学部の時代1971年に「社団法人大阪工業会」として文部省の認可を受けました。2012年には法律の改正を受け「一般社団法人」に移行しました。来年は当会創立100周年の記念すべき年になります。現存の卒業生・在校生の人数は約4万人にのぼり、これを母体とする当会は大阪大学の部局等の同窓会の中でも最大の存在です。

当会は定款に従い、公益継続事業と共益事業（同窓会活動）という二つの事業を実施しています。公益継続事業としては、

- (1) 各種講演会の開催及び援助、数学講座の開催、工場や施設あるいは工事現場の見学、科学技術展示会、ホームページ（Techno-Net Web）掲載による情報の伝達・啓発活動等の事業。
- (2) 大学の海外交流活動の援助・支援、科学技術に関する調査・研究活動に対する援助（寄附）、大阪大学工業会賞の授与等の事業。これらの援助・支援、工業会賞の授与の対象は工業会の会員に限られます。
- (3) 研究・科学論文誌「TECHNO NET」の刊行（年4回）。
- (4) 企業の協力を得て各種セミナーを開催し、会員・非会員を問わず学生のキャリア教育の推進。

共益的事業としては同窓会活動、すなわち会員を対象とした総会（年1回）、理事会（原則年2回）、支部総会（年1回）、支部役員会（原則年2回）等の開催。

当会上記の事業活動は卒業生、在校生、現任教員のうち会費を収めていただいている方すなわち会員により維持されています。会費は正会員6,000円/年、学生会員3,000円/年ですが、入会時に5万円を納入していただく

以降は年会費のいらない終身会員になることができます。当会としてはお得な終身会員制度を利用して、会員の皆様が生涯にわたり同窓会事業に積極的に参画・協力していただくことを切に希望しております。

当会の事業を活発化するには、大学との連携を一層緊密にし、大学の教育研究活動への工業会の支援を学生や教職員に身近に感じていただくことが基本的に重要であると考えています。この度、工学研究科・工学部は大学本部の協力を得て、工学部地区にある従来の食堂が中心の福利厚生会館の耐震改修工事を行い、隣接して6階建ての吹田福利交流研究棟（名称：センテラス）を新たに建設されました。当会はこの機を捉え、大学との連携をさらに強化し活動の新しい展開を図ることを狙い、センテラスの建設を大阪大学未来基金を通して支援（寄附）し、大学当局の了承を得て当会事務局を大阪市内から同棟内に移転いたしました。

センテラスは6階建て、延床面積約3,700㎡の規模で、1階は食堂の拡張部分、2階は売店、コーヒーショップなど、3階は交流スペース・サロン、4～6階はオープンラボが設けられています。総工費は約13億円で、昨年2017年3月末に完成、4月25日に竣工記念式典が盛大に行われました。式典は工学部創始120周年記念も兼ねられました。当会事務局は3階の交流スペース・サロンの一画（約30㎡）に置かれています。

吹田キャンパスへの移転を機に、工学研究科・工学部、同窓生の皆様のご協力を得て、在校生を対象として卒業生が活躍している企業の活動を個別に紹介するイブニングセミナーなど新しい事業の展開を進めております。センテラスにある当会事務局にも機会があればぜひお訪ねください。

ご報告を兼ね、本会の活動への皆様の一層のご支援・ご協力をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

（電気 昭和33年卒 35年修士）



年 頭 所 感

新春のご挨拶

大阪大学・大学院工学研究科
工学研究科長・工学部長

田 中 敏 宏

平成30年の年初にあたり謹んでご祝詞申し上げ、大阪大学工業会の皆様のご多幸を心より祈念申し上げます。また、常日頃より大阪大学工業会の皆様方からの温かいご支援を頂戴いたしておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

大阪大学工学研究科・工学部は1896年に官立大阪工業学校が中之島に開設されてから数えると、一昨年2016年に120周年を迎えました。工学研究科がこれまで120年間にわたり発展し続けることができたのは、これまでに多くの卒業生の皆様が大阪大学の内外で大いに活躍され、多大なるご尽力・ご支援をいただいたお蔭であり、これまでのひとつひとつの活動の積み重ねに対する世の中の評価の上に現在の工学研究科・工学部が成り立っています。この120周年を一つの節目として位置付けるために、工学研究科のキャンパスの中心にある福利厚生棟を改築・増築し、昨年2017年4月25日に、新たな福利厚生棟にて、工学部創始120周年記念式典を開催しました。サラヤ株式会社・代表取締役社長の更家悠介様の記念講演を頂戴した後、建物見学会と祝賀パーティーを行いました。同記念事業に対しまして、大阪大学工業会ならびに、多くの卒業生の方々から頂きました多大なるご寄附・ご支援に対しまして、改めて厚く御礼申し上げます。

新たな福利厚生施設は名称公募により“センテラス Central Terrace”と名付けられ、北側の棟は6階建てとなり、3階には各種会議・講演会などができるサロンを設置いたしました。さらに3階の一角には、大阪大学工業会の事務所が昨年3月から入居されています。この3階のフロアでは、学内の教員・学生のみならず、外部の企業等からのお客様、さらには上記大阪大学工業会を通じて卒業生の皆様等々、様々な方々が情報交換・意見交換ができる場にしたいと考えております。

上記120周年を節目に、さらに将来に向けて、長期的な視点に立った人材育成こそが工学研究科の使命であると考え、10年～20年単位の教育・研究プロジェクト等を考えていきたいと思っています。そこで現在、工学研究科では、専攻再編を計画しています。従来からの各学問分野、学理分野をより充実させ、先行きの見えにくい将来

にわたってでも若い世代が活躍できるように、学問の基礎となる分野を十分に習熟した人材を育成することに主眼をおきます。一方、多様性の重要性が叫ばれる中、連携・融合分野の教育研究活動も不可欠であるため、各学問分野の研究者が様々な連携領域で活躍されている実績を考慮して横断型の領域を活用できる体制を計画しています。この体制をTechno-Research Arena（テクノ・リサーチ・アリーナ）と呼び、従来のDepartmentやDivisionという学科や専攻と呼ばれる組織の枠を超えた教育研究体制を構築する計画です。例えば、エネルギーや省資源化に関してはすでに既存のすべての専攻で教育研究活動が行われています。そこで、既存の専攻群に跨って、エネルギーや省資源化を行っている研究領域を「もったいない工学」と呼び、様々な工学分野の背景を持つ研究者が集まって、新たな学問領域の創出を目指し、また、複数のバックグラウンドを有する研究者の集まりを活かして、複雑な課題に対する学外の要望にも応えることができる体制を構築します。また、この“テクノ・リサーチ・アリーナ”は修士論文や博士論文の研究活動の場としても活用し、さらには、卒業研究の場にも利用したいと考えています。これらは、工学と言う幅広い分野の横に広がる体制の構築ですが、新たな学問の創出やイノベーション創成のためには、若い頭脳とシニアの経験・実績の連携もきわめて重要です。もちろん、学内において、学生と教員という組み合わせも可能ですが、卒業生と言う膨大な価値ある人的資源を活用させていただくことが非常に有用であると考えています。言い換えると、卒業生の皆様の母体である大阪大学工業会との連携は、大阪大学工学研究科の長期的人材育成の場の更なる発展のためには不可欠であると考えております。

以上のような工学研究科の組織再編のためには、皆様方との様々な情報交換が不可欠であり、皆様方からの色々なご意見を頂戴できればと思っております。皆様のご支援・ご鞭撻を引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。

（冶金 昭和55年卒 57年前期 60年後期）



年 頭 所 感

新年のご挨拶

大阪大学同窓会連合会 会長
大阪大学元総長・名誉教授

熊 谷 信 昭

大阪大学工業会の会員の皆様 新年おめでとうございます。

昭和6年（1931年）に医学部と理学部のたった2つの学部だけで僅か86名の新入学生によって発足した大阪大学は今年で開学87年目を迎え、名実共に我が国を代表する屈指の大学として高い評価を受け、卒業生やご関係の皆様も国内外の各界・各分野でめざましい活躍をしておられますことはまことに同慶の至りです。

その大阪大学には、現在、長い歴史と最大の規模をもつ大阪大学工業会をはじめ、部局毎、学部毎、研究科毎、系毎、学科毎、等々の多くの同窓会組織がありますが、今から13年前の平成17年（2005年）に、これらの同窓会の連合体として大阪大学同窓会連合会が結成され、その結成式が7月25日、天神祭の日に、船渡御の阪大船の船の上で盛大に行われました。そして、全同窓生と教職員、関係者らが部局や学科等の枠を越えて、さらなる一体感をもって一層の交流・親睦と連携・協力の輪を拡げ、大阪大学と全同窓生の益々の活躍と発展に資することを目指しています。

この大阪大学同窓会連合会には、大阪大学と統合して日本最大の外国語学部となった旧大阪外国語大学および大阪大学外国語学部の同窓会組織である「咲耶会」の会員や、同じく大阪大学教養部の母体となった旧制の大阪高等学校や浪速高等学校の卒業生のほか、NTTみおつくし会（会員数約1,700名）やトヨタ阪大会（会員数約1,100名）など色々な企業毎の阪大同窓生による「職域同窓会」の皆さん、さらには大阪大学に留学しておられた外

国人元留学生達による「国際同窓会」（会員数約700名）の会員なども構成員として含まれています。

また、海外にも、私が総長の時に、主として工学部に留学していたタイの留学生達を中心として出来た、海外の同窓会としては最も古い歴史をもつ大阪大学タイ同窓会をはじめ、北米同窓会や上海同窓会、欧州同窓会などが結成され、それぞれに活動しています。

工業会の皆様方もお仕事で海外出張をなさる時や、ご家族で外国に旅行されるような時には、もし日程が合えば、あるいは出来れば多少日程を調整してでも、これらの海外の同窓会にご家族共々出席なさると、思いもかけずなつかしい旧友に巡り会えたり、その国や地域の最新の情報などを紹介してもらえたりして、大変楽しく、かつ有意義であろうと思います。

このような、阪大の同窓会に関することについては、大学本部の「卒業生係」という係にお問い合わせいただければ色々な情報が得られると思います。

大阪大学の卒業生や在学生、教職員やご関係の皆様方が、輝かしい歴史と伝統の上に立って常に活力溢れる若々しい大学として発展し続ける大阪大学と共に連携・協力して、世界を舞台にさらに一層ご活躍下さいますことを願っています。

新しい年が大阪大学工業会にとりましても会員の皆様にとりましても、より良い年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

（通信 昭和28年旧制卒）

新年を迎えて

大阪支部長 太 田 紀 一

新年明けましておめでとうございます。

今年も大阪支部会員の皆様にとって良い年になる様願っております。

昨年支部長をお引き受けした新米なので、支部の運営に当たっては、支部会員の御協力をお願いする次第です。

1. 経歴

1957年4月に三井造船株式会社に入社、1999年6月に同社を卒業。

その後、三造有機リサイクル株式会社（札幌）、発酵ウコン株式会社（東京）を経て、現在、株式会社太紀（熊本）でサラリーマン生活を続けています。

2. 抱負

東京支部を目標に、大阪支部の陣容を拡大したい。

現在支部の活動は、三木会を毎月第三木曜日に開催。

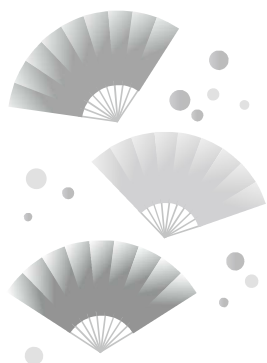
参加人員は平均8名。

総会は例年本部と共催であったが、昨年久し振りに独自の総会を開催。

参加人員は30名弱。三木会、総会以外にも「ビールの会」「見学会」を適宜開催しています。

大阪支部の会員の皆様におかれましては、支部の各種会合に奮ってご参加いただきますよう、年頭にあたりお願い申し上げます。

（造船 昭和32年卒）



新年を迎えて

東京支部長 池 田 博 昌

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にはご清祥にて穏やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。支部長をお引き受けして17年目に入ります。支部の運営に当たり、会員の皆様の温かいご理解・ご協力に感謝しております。

大阪大学工業会は今年創立99年を、また東京支部は創立98年をそれぞれ迎えることとなります。長い歴史のもと、ここまで発展してきたことは歴代役員のご努力の賜物と感謝しております。

昨年は、IoT、ビッグデータ、AIがキーワードで、超スマート社会（Society 5.0）への取り組み、自動車の自動運転への大きな進展、コンピュータ囲碁の対名人戦での勝利など飛躍的な展望が見られました。スポーツの分野でも大きな成果が見られ、平昌・東京両オリンピックへの明るい見通しが得られました。さらに人生100年の時代の到来も取り上げられています。明るい話題の裏には、米国と北朝鮮のきわどいやりで心配の多い年でもありました。今年も明るい話題の大きな進展を期待して、明るい健康な生活を維持したいものです。

6年前に発足した大阪銀杏技術士会（阪大技術士会）は、着実な進展をしており、会員数は増加しており、100名を超えるまでになりました。阪大卒業者の中で技術士の資格をお持ちの方、資格取得に関心を持ちの方は会員登録を頂くと幸いです。皆様のご理解をお願いします。

OKC東京支部の活動に関しましては、現役世代の参加を期待して総会の開催日を土曜日に変更してみました。が、思うような参加が得られず、残念な動きとなりました。ただ、今年も再度土曜日の総会を盛り上げる努力を続ける予定にしております。また、月例の夕方の「二日会」、昼食会としての「二水会」はいずれも会員相互の懇親を深める会として着実に開催しております。二日会には平均16名、二水会には平均9名の参加があり、毎月賑やかに話題が広がっております。二日会の日の午後に実施している「囲碁同好会」も毎月盛況です。四行大と称している「総会」「ビールの会」「秋の集い」「新年会」では最近65名程度のご参加を頂いております。「ゴルフ同好会」については春秋と開催してきており、参加者の若返りも進んでおります。さらに、経済学部・法学部OBとの懇親ゴルフも着実に進展しており、当支部からは16名が参加しております。今年も1月初旬に予定しております。冬季には「スキー同好会」の活動も積極的に行われております。また、「カラオケ同好会」も好評です。

四行大には多数の参加を期待して参加者の誘致に努力するなど、6名の副支部長の絶大なご協力により活性化に努力しております。本年も、支部活動のさらなる活性化に向けて引き続き取り組みますので、ご期待いただきたいと思っております。東京支部の会員諸氏におかれましては、支部の各種催事に奮ってご参加いただきますよう、年頭にあたりお願い申し上げます。

（通信 昭和34年卒）